

2026年度 戦略的創造研究推進事業(ACT-X) 加速フェーズ研究課題

2026年4月1日

戦略的創造研究推進事業(ACT-X)において、加速フェーズ研究への移行を希望する課題について評価を行い、2026年度加速フェーズ研究課題を次の通り決定しました。

研究領域:「トランススケールな理解で切り拓く革新的な材料」

研究総括:竹内 正之(物質・材料研究機構 高分子・バイオ材料研究センター センター長)

氏名	所属機関・部署	役職	研究課題名
秋吉 一孝	名古屋大学 大学院工学研究科	助教	汎用元素を利用したカルコパイライト型半導体粒子の創製と光機能制御
石井 良樹	北里大学 未来工学部	講師	ハイブリッドソフト材料の集合体物性を切り拓くナノ構造計算化学
大久保 光	横浜国立大学 大学院環境情報研究院	准教授	SRT 材料の潤滑機構の階層的な理解と新機能開拓
岡田 和歩	物質・材料研究機構 構造材料研究センター	主任研究員	予疲労変形を用いたき裂発生抑制による高強度鋼の疲労限度向上機構の解明
櫛田 創	筑波大学 数理物質系	助教	分子振動ポラリトン凝縮によるトランススケール材料創成
倉科 佑太	東京農工大学 大学院工学研究院	准教授	超音波細胞操作治療を実現するためのナノ振動核の創成
高橋 秀実	大阪大学 大学院工学研究科	助教	光で実現する革新的結晶作製技術の創成
平田 海斗	名古屋工業大学 大学院工学研究科	助教	光触媒機構の解明に資する電気化学セル顕微鏡の開発
福永 隼也	東京大学 大学院理学系研究科	助教	ソフトなキラリティを有するナノカーボンのネットワーク構築
増田 紘士	東京大学 大学院工学系研究科	講師	セラミックスにおける微視的な塑性変形能の活性化
渡邊 雄一郎	京都大学 大学院工学研究科	助教	電場下ナノスケール制御による革新的超分子ポリマー材料の創生

(所属機関・役職は移行時点、五十音順に掲載)

研究領域:「次世代 AI を築く数理・情報科学の革新」

研究総括:原 隆浩(大阪大学 大学院情報科学研究科 研究科長・教授)

氏名	所属機関・部署	役職	研究課題名
飯田 慎仁	北里大学 未来工学部	助教	拡散モデルによる蛋白質の立体構造集団の生成
金森 憲太郎	富士通(株) 富士通研究所	プリンシパルリサーチャー	データ駆動型意思決定のためのアクション説明技術の研究
小林 和馬	国立がん研究センター研究所 医療 AI 研究開発分野	主任研究員	医師の臨床推論を支援するインタラクティブ AI
近藤 亮磨	東京大学 大学院情報理工学系研究科	特任助教	判決文を用いた法ナレッジグラフの構築および法ナレッジグラフ型マイクロ AI の研究
曾我部 舞奈	東京大学 大学院工学系研究科	特任講師	正解ラベルのない生体情報のための逆問題的アプローチ
近原 鷹一	NTT(株) NTT コミュニケーション科学基礎研究所	研究主任	公平な機械学習予測を志向した不完全データからの因果推論
長沼 一輝	東京農工大学 大学院工学研究院	特任助教	マルチモーダル辞書学習による先端計測のための画像再構成
橋本 和宗	大阪大学 大学院工学研究科	准教授	深層 STL 生成モジュールを用いた自律制御システムの開発
原田 翔太	九州大学 大学院システム情報科学研究院	助教	順序でつなぐ AI による医用データセットの統合
PARMAS PAAVO	東京大学 大学院工学系研究科	特任助教	Theory, algorithms and software toward hyper-efficient Monte Carlo gradient estimation. (モンテカルロ勾配推定の超効率化に向けた理論、アルゴリズムとソフトウェアの開発研究)
松井 智一	奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科	助教	生活行動の音声アノテーションと最適な介入に関する研究
松尾 信之介*	九州大学 大学院システム情報科学府	大学院生	アノテーション戦略の最適化

(所属機関・役職は移行時点、五十音順に掲載)

(※所属機関・役職名は評価時点)

研究領域:「生命現象と機能性物質」

研究総括:豊島 陽子(東京大学 名誉教授)

氏名	所属機関・部署	役職	研究課題名
大町 紘平	理化学研究所 生命機能科学研究センター	基礎科学特別研究員	細胞外マトリックスが駆動する上皮組織の発生と恒常性
川崎 洸司	東京大学 定量生命科学研究科	助教	構造型転写オペロンを形成する分子基盤の解明と自在制御

國村 和史	九州大学 生体防御医学研究所	准教授	妊娠成立・維持に働く胎児保護分子の実証と制御法開発
河野 敬太	九州大学 大学院薬学研究院	助教	CD11c 陽性マイクログリア由来 IGF-1 の疼痛緩和機構
鈴木 大介	京都大学 iPS 細胞研究所	特定研究員	内在性レトロウイルスによるヒト胎盤幹細胞の機能制御
平泉 将浩	東京大学 大学院工学系研究科	助教	リコンビナーゼ改変体を用いた新規ノックイン技術の創製
三宅 健介	東京科学大学 総合研究院	テニュアトラック准教授	好塩基球の分化・成熟における機能性転写因子の解明

(所属機関・役職は移行時点、五十音順に掲載)

研究領域:「リアル空間を強靱にするハードウェアの未来」

研究総括:田中 秀治(東北大学 大学院工学研究科 教授)

氏名	所属機関・部署	役職	研究課題名
飯谷 健太	東京科学大学 総合研究院	准教授	経皮ガス用蛍光式バイオセンサモジュールの開発
岡本 尚之	千葉大学 フロンティア医工学センター	助教(テニュアトラック)	マイクロ CT が拓く術中迅速病理診断における3次元構造解析
徐 自聡	東京大学 大学院新領域創成科学研究科	東京大学特別研究員	誘導ハイパーラマン散乱顕微分光法の開発
甚野 裕明	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所	助教	宇宙用電源に向けた放射線安定な超薄型ペロブスカイト太陽電池
高桑 聖仁	東京大学 大学院工学系研究科	助教	次世代ウェアラブルデバイス構築に向けた脱着可能な超柔軟接合技術
平城 裕隆	東京大学 大学院学際情報学府	大学院生	対面での発声を拡張できるウェアラブルな音声入出力インタフェースの開発
李 恒	中央大学 理工学部	助教	検査員視覚と調和する透明光熱電撮像ゴーグルの創製

(所属機関・役職は移行時点、五十音順に掲載)

研究領域:「環境とバイオテクノロジー」

研究総括:野村 暢彦(筑波大学 生命環境系 教授/微生物サステナビリティ研究センター センター長/高等研究院 教授)

氏名	所属機関・部署	役職	研究課題名
緋田 安希子	広島大学 大学院統合生命科学研究科	助教	植物病原菌におけるホウ酸を介した感染機構の解明

(所属機関・役職は移行時点)

<加速フェーズ移行評価について>

ACT-X では、研究領域毎に、研究者の申請に基づき加速フェーズへの移行評価を行います。「戦略的創造研究推進事業(新技術シーズ創出)の実施に関する規則」に基づいて実施される課題事後評価に準ずる評価項目について評価を実施するとともに、「研究を引き続き支援することでより一層大きな成果になることが期待されるか」を評価し、加速フェーズへの移行課題を決定します。

以上